

第18回 第7次NACCS合同作業部会 議事要旨

1. 日時：令和4年11月10日（木）10:00~12:00
2. 場所：オンライン開催（Microsoft Teams）
3. 出席者：別紙の通り
4. 議事の概要
 - (1) 議題1 第17回合同作業部会の結果報告
 - 議事資料1に基づき、事務局より説明を行った。
 - (2) 議題2 知的財産関係手続に係る各種通知の電子化
 - 議事資料2に基づき、事務局より説明を行った。
 - 認定手続開始通知書等の通知先が「権利者等」とあるが、この中に通関業者は含まれるのか。（委員）
 - ⇒ 通知先は権利者と輸出入者である。（東京税関）
 - ⇒ 認定手続開始の旨が把握できるように、通知先に通関業者を含めることは可能か。（委員）
 - ⇒ 費用対効果等を踏まえ検討いたします。（東京税関）
 - (3) 議題3 減免戻し税等明細書提出のシステム化
 - 議事資料3に基づき、事務局より説明を行った。
 - (4) 議題4 航空貨物におけるラウンド運送機能の追加
 - 議事資料4に基づき、事務局より説明を行った。

(5) 議題5 航空貨物における仮陸揚関連業務の改善<2>

- 議事資料5に基づき、事務局より説明を行った。
- 成田空港の貨物ターミナル地区・南部貨物地区・整備地区を跨ぐ場合もNACCS上で保税運送申告できるようになるか。(委員)

⇒ ご認識の通りです。(東京税関)

(東京税関 補足説明追記)

当該案件の資料P13記載の留意点のとおり、仮陸揚貨物の保税運送については、運送先が航空会社保税蔵置場または空港保税蔵置場※であることの条件を満たしていれば、ご質問の地域間での保税運送申告が可能となります。

※空港保税蔵置場とは、各空港の貨物地区に位置する保税蔵置場で、航空のみ利用契約蔵置場が対象となります。(NSSでのシステム設定にて空港コードを設定している保税蔵置場)

(6) 議題6 不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化<2>

- 議事資料6に基づき、事務局より説明を行った。

(7) 議題7 動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加

- 議事資料7に基づき、事務局より説明を行った。

(8) 動物検疫案件

- 議事資料8に基づき、事務局より説明を行った。
- 申請者への連絡機能追加に関して、「輸入畜産物検査申請情報照会(IIL)」業務を実施せずとも連絡内容が確認できるよう、帳票電文自体に連絡内容を記載することは可能か。(委員)
⇒ 帳票電文自体にも連絡内容を記載いたします。(事務局)
- 申請者への連絡機能追加に関して、申請者から動物検疫所に連絡する機能の実装は予定しているか。(委員)
⇒ 第7次NACCSのリリース時点での実装は予定していないが、運用中に当該機能の有効性が認められた場合には実装を検討いたします。
(事務局)

(9) 植物検疫案件

- 議事資料9に基づき、事務局より説明を行った。

(10) 内航船による外貿コンテナフィーダー手続<2>

- 議事資料10に基づき、事務局より説明を行った。

(11) 第2回海上入出港業務SWG結果報告（WebNACCS）

- 議事資料11に基づき、事務局より説明を行った。

(12) 第2回海上入出港業務SWG結果報告（国土交通省地方運輸局案件）

- 議事資料12に基づき、事務局より説明を行った。
- 第2回海上入出港業務SWGの場で、ポートチェンジ後に代理店Bが申請を行う場合の入力項目について、新規に一から入力せずに済む方法がないか検討してほしいと発言をしたが、入力項目の検討だけではなく、他業務との絡みにより、フロー自体が変わってくる可能性があるため、検証を行う予定である。検証後に再度意見させていただきたい。（委員）
⇒ 承知いたしました。（事務局）

5. 連絡事項

- 今後のスケジュールは以下を予定している。
 - 2022年12月8日（木） 第19回合同作業部会
 - 2023年1月12日（木） 第20回合同作業部会
 - 2023年2月2日（木） 第5回更改専門部会
- 本日の議題について、ご質問・ご意見等があればアンケートフォーム、メール等にてお寄せいただきたい。

以上